

## 平成25年11月定例教育委員会会議録

日 時	平成25年11月8日（金） 午後3時00分～5時20分
場 所	秦野市役所本庁舎4階議会第1会議室
出席委員	委員長 望月 國男      委員長職務代理者 高橋 照江 委 員 飯田 文宏      委 員 内田 晴久      教育長 内田 賢司
欠席委員	なし
委員以外 の出席者	教育部長 水野 和成      生涯学習課長 横溝 昭次 教育部参事 小山田幸弘      図書館長 石井 勇次 教育総務課長 山口 均      公民館担当課長 井手 則夫 学校教育課長 大津 操      教育総務課課長補佐(庶務担当) 鈴木 利昭 教育指導課長兼      教育総務課庶務班主事補 川崎 倫明 教育研究所長 杉山 哲也
傍聴者	1名
会議次第	<p style="text-align: center;"><b>1 1 月 定 例 教 育 委 員 会 会 議</b></p> <p>日 時 平成25年11月8日（金） 午後3時</p> <p>場 所 議会第1会議室</p> <p style="text-align: center;">次                      第</p> <p>1 開 会</p> <p>2 会議録の承認</p> <p>3 教育長報告及び提案</p> <p>（1）平成25年12月の開催行事等について</p> <p>（2）第4回いじめを考える児童生徒委員会について</p> <p>（3）平成25年度チャレンジ・イングリッシュキャンプについて</p> <p>（4）平成25年度はだのっ子アワード表彰式について</p> <p>（5）第19回全国報徳サミット秦野市大会について</p> <p>（6）前田夕暮生誕130年記念特別講演「夕暮と白秋」について</p> <p>4 議 案</p>

	<p>(1) 議案第23号 平成26年度秦野市立小中学校県費負担教職員人事異動方針について</p> <p>(2) 議案第24号 平成26年度秦野市立幼稚園教諭人事異動方針について</p> <p>(3) 議案第25号 平成25年度教育功労者等表彰・教育長表彰について</p> <p>5 その他</p> <p>(1) 平成26年度予算編成方針について</p> <p>6 閉 会</p>
会議資料	別紙のとおり

望月委員長

ただいまから11月の定例教育委員会会議を開催いたします。お手元の会議次第に沿って始めさせていただきます。まず、会議録の承認についてですが、ご意見、ご質問がございましたら、お願いいたします。

なお、秘密会につきましては、会議が終了後、事務局に申し出てください。

—とくになし—

望月委員長

それでは、会議録を承認します。

次に、議案第23号「平成26年度秦野市立小中学校県費負担教職員人事異動方針について」、議案第24号「平成26年度秦野市立幼稚園教諭人事異動方針について」、議案第25号「平成25年度教育功労者等表彰・教育長表彰について」及びその他(1)「平成26年度予算編成について」は、非公開情報等が含まれているため、秘密会での審議及び報告としてよろしいでしょうか。

—異議なし—

望月委員長

それでは、議案第23号、第24号、第25号及びその他(1)については、秘密会での審議及び報告といたします。

次に、教育長報告及び提案についてお願いいたします。

教育長

それでは、資料No.1「平成25年12月の開催行事等について」ご覧いただきたいと思います。

早いもので、秦野市議会第4回定例会が11月27日に開会し、12月18日までの予定です。

次に、12月7、8日に、南公民館まつりが行われます。

次に、12月10日が南が丘小学校に教育訪問へまいります。

ご都合がつけば、ご参加をいただければと思います。

教育指導課長

次に、12月10日と24日がブックスタートを行います。これも恒例の事業となります。

次に、12月14日が、午前中に教育長表彰式を総合体育館サブアリーナで開催します。

同日の午後、教育功労者等表彰式を同じくサブアリーナで開催します。

次に、12月20日に定例教育委員会会議を開催します。

次に、21日の土曜日、前田夕暮生誕130周年記念特別講演がございます。会場は文化会館展示室で行います。

その日の午後3時から、はだのっ子アワード表彰式を本町公民館大会議室で行います。

次に、24日は終業式になります。冬季休業は、12月25日から1月7日までとなります。

それでは、資料No.2「第4回いじめを考える児童生徒委員会について」ご説明します。

いじめを考える児童生徒委員会は年間4回開催していますが、今回は最終回で11月17日午後の日程となります。子どもたちは午前中から準備しますが、午後1時から、市P連のご協力をいただき、市P連道徳会議として、市P連や地域の方々、学校の教職員も含め、子どもたちと一緒にいじめ根絶に向けた討議を行います。

例年では、ここで討議した内容を来年度の各学校の取り組みに生かすという流れでしたが、今年度はすぐに委員会で話し合った内容を学校に伝え、できるところから始めるという流れにしていきたいと考えております。

続きまして、資料No.3「平成25年度チャレンジ・イングリッシュキャンプについて」です。こども育成課が主管課ですが、教育指導課の指導主事もお手伝いをして運営をしています。本年度は11月23日から1泊2日ということで、23、24日の日程で行います。4年生から6年生までの小学生の児童が1泊2日で英語に親しむこととなります。今回、募集人数を50名と、去年よりも募集人員を多くしましたが、現時点で54名の応募があり、54名全員を受け入れることができるそうなので、各小学校の英語担当教員にも見てもらいたいと、来週月曜日に開催される園長・校長会で声をかけたいと思います。

続きまして、資料No.4「平成25年度はだのっ子アワードの表彰式について」でございます。12月21日土曜日の午後3時から行いますので、もしご都合つけば、来ていただければと思いま

す。

はだのっ子アワードの表彰は、市長からの表彰になります。内容としましては、3つの部門に分かれておりまして、ふるさと秦野検定で1級をとった子どもたちが1部門、市内各地区を回って秦野のいいところを見つけてくるという体験活動部門、教育委員会や市長部局で募集する文芸関係について優秀作品となる文芸部門、この3部門の表彰であります。今年は初めてトリプルクラウンが出ました。トリプルクラウンとは、ふるさと秦野検定1級に合格し、体験部門をクリアし、文芸部門で賞をもらって全部門を制覇したということです。鶴巻小学校6年生の岩城さんという児童が初めて表彰されます。表彰盾は、秦野の間伐材を使った表彰盾を準備しているところです。

続きまして、資料No.5「第19回全国報徳サミット秦野市大会について」ご報告します。

第19回全国報徳サミット秦野市大会は、10月19日に開催し、市内外から総勢1,200名にご参加いただきました。教育委員の皆様にも参加していただき、ありがとうございました。

大会前日の10月18日については、2時から8時までとさせていただき、視察研修、協議会の総会、交流会の3つを実施しました。

視察研修については、南小学校金次郎像、戸川公園、野外活動センター、この3カ所を見ていただきました。

その後、協議会総会では、サミットの事業計画、協議会の予算、サミットの大会宣言、来年度のサミットの開催地等について協議していただきました。その後、場所を出雲記念館に移し、交流会を開催しました。

翌日の10月19日については、午前9時から12時40分まで、秦野市大会を開催いたしました。

内容といたしましては、オープニングイベントということで、丹沢アルプホルンクラブと秦野観光和太鼓に協力していただきました。その後、開催行事、基調講演と進めてまいりまして、基調講演では、中桐万里子氏に「豊かなひとづくり～二宮金次郎にみる知恵～」という講演を行っていただきました。

裏面をご覧いただきたいのですが、その後、南小学校児童による菜種採取の体験学習発表、被災地応援歌「花は咲く」を披露していただきました。

その後、秦野市合唱連盟による合唱披露ということで、3曲披露していただきました。

その後、報徳のまちづくりパネルディスカッション「活気あふれるまちづくり・ひとづくり」をテーマに、14市町の首長（教育長）がパネリストとなり、意見交換を行いました。

その後、大会宣言決議・次回開催地への引き継ぎということで、秦野市議会議長が大会宣言を朗読し、拍手により決議されました。また、秦野市長から次回開催地の栃木県真岡市長へ金次郎像が引き継がれ、予定どおり12時40分に閉会となりました。

来年のサミットは真岡市で開催されますが、来年度も引き続き報徳の学習や活動について、継続して進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

図書館長

資料No.6「前田夕暮生誕130年記念特別講演「夕暮と白秋」について」お知らせいたします。

今年が前田夕暮生誕130年になることから特別講演を開催いたします。日時が12月21日土曜日午後1時半から文化会館展示室で開催いたします。今回は講演として「夕暮と白秋」ということで、講師に渡英子先生をお招きして行います。

裏面をご覧ください。夕暮と白秋については、大正12年に小田原駅の電車で偶然再会し、そのまま三浦半島へ行き、3泊4日でいろいろと交流を深めたという逸話がございます。そういうものを入れ、夕暮と白秋についての講演を行います。

今回、講師をお願いいたしました渡英子先生の略歴が載っておりますが、さまざまな形で活発に著作活動、あるいは講演活動をなさっております。ぜひ多くの方に参加いただければと思います。

また、10月1日から来年の3月30日まで、図書館2階の夕暮記念室で特別記念展ということで、夕暮のいろいろな作品、あるいは交流があったもの等を展示しておりますので、これも引き続きPRしていきたいと考えております。

望月委員長

それでは、質問や意見等を受け付けたいと思います。一括して、何かありましたら、お願ひします。

高橋委員

資料No.5の報徳サミットですが、生涯学習課長、大変ご苦労さまでした。大会に参加させていただいて、基調講演がとてもよかったです。あの会場全体がしんとして聞き入っている態度に、私は本当にすばらしいなと感じました。また、これを機会に、ますます二宮尊徳の思想、報徳思想、仕法が引き継がれ、秦野の学校教育にも生かしていただけたらありがたいなと思います。本当に生涯学習課の努力に感謝して、お礼申し上げたいと思います。

望月委員長

ほかに報徳関係ありませんか。

では、私からも感想を述べさせていただきます。去年、御殿場

から引き継いで、果たしてどの程度市民に浸透するかと非常に心配していたのですが、いろいろ行事を持つたびに、市民が非常に関心を持ってきてくれたと思いました。図書館で研修会等を行い、私も2、3回出席したのですが、出るたびに手ごたえを感じるのです。そのため、これは盛り上がると思っていました。当日、1,200人集まったということですが、高橋委員がおっしゃっていたように、非常にご苦労も多かったと思いますが、本当にありがとうございました。

私は、この尊徳サミットの運営方法、中身の件で気がついたことがあります。時間的にこれが可能かどうか、議論する余地があるのですが、来年は真岡市、再来年は豊頃町でサミットを行うのですが、その市町と尊徳はどのような関わりがあるか。真岡市は直接尊徳が行っていませんから、関わりがあるか、そういうことをしっかりと、入れた方がいいのではないかと思います。

今回のサミットは、せっかく掛川市等の報徳仕法の関係者が来ているので、安居院庄七を心から尊敬している向こうの人たちの生の声を聞くと、「ああ、なるほどな」と、秦野市民としても一つの誇りがまた出てくるのではないかと思います。確かに中桐先生も、草山貞胤や安居院庄七のことに少し触れられたのですが、せっかくですから、向こうの人たちに生の声をあの場でちょっと発表していただいた方がよかったですと思います。来年、真岡市はそういう方法と取った方がいいのではないかなと思います。

ただし、時間の関係がありますので、そのときの実行委員会の知恵を絞ってやっていったらどうかと思います。

今度の報徳サミットで何が一番よかったかということなのですが、実は私自身が尊徳を大変勉強できたということなのです。今までの私の尊徳像は、まきを背負った勤勉家の尊徳、読書家の尊徳というイメージでしたが、講演を聞き、本を読んでいくうちに、すごい思想家、哲学者、農聖人ということがよくわかったのです。あの考え方、報徳仕法は、先行き不透明な現在の社会の中で、何か考えるヒントになり得るものがあるのではないかと思います。

基調講演は会場全体が緊張していました。実は、講演が終わった後に中桐さんのもとへ行くと、先生の顔を見てほっとしたと言うのです。私はこんなに大勢のところで話をしたのは初めてで、うんと緊張したとおっしゃっていました。私は随分楽しんでいただいていた感じがしましたよと言ったのですが、相当緊張していたと言っていました。先ほど、高橋委員がおっしゃっていたことは、会場全体の人たちが思ったことではないかと思います。いずれ

教育長

にしても本当にご苦労さまでした。

サミットが終わって10日ぐらい後に、新聞記事に平塚市の学芸員が尊徳の本を出版したそうです。まだ、その本を入手していないのですが、その本の中に、秦野市にも当時、報徳支社が7つあったと出ていたのです。それを市長に言いましたら、ぜひ将来的にそういうものを復活させたいという、そんな夢を語っていただきました。直ちにできるものではないと思うのですが、そういう話が出ています。

望月委員長

実は、いろいろと調べていくうちに、山梨県の南アルプス市には今も報徳社があるのです。それは多分、安居院さんがずっと山梨県で啓発活動していたためだと思います。多分、安居院さんが種をまいたのではないかと、あくまでも推測ですが。

教育長

南アルプス市は女性が教育長です。教育長会議でお会いして、名刺交換をしたことがあります。

高橋委員

蓑毛に報徳社があったそうですね。

望月委員長

平沢にもあったのではないかと思います。

高橋委員

御殿場では、いろいろ活動されていましたが、秦野市はどうか私も心配していたのです。

教育長

自然消滅になったのか、その事情もわからないのです。

高橋委員

お話を伺える人が生存されていれば、そのときの話を聴ければいいですね。

教育長

中桐さんは既に次のところでも公演をすることが決まったそうです。

望月委員長

おばあちゃんの影響を受けたと、初めてあの人の系列を言いました。私のおばあちゃんは、ひ孫の徳の娘であり、そのおばあちゃんの影響を受けて育ったと言っていましたので、系列調べ、中桐さんにメールを打ってやったら全部教えていただきました。直系が6代で、子どもがいないそうなのです。

教育長

仕事を残せばいい。名前を残すのではなくて、仕事を残せ。

望月委員長

そうです。そういう教えを守って、高校の英語の先生をしていたそうです。養子ももらわないということのようです。

とにかく家系を見ると、頭がいい人間が多いです。現在の尊志さんのお父さんの尊道さんは神戸大学の有名な英文学者です。片桐さんにメールで確認したのですが、間違いのないようです。

他に何かありませんか。

それから、イングリッシュキャンプは、だんだん慣れるにしたがって子どもたちが非常に活発になってきています。今の小学校の外国語活動は、発音や文法等ではなく、いかに小学校の段階か

らコミュニケーションをしようとする意欲や態度を育てることが狙いであるわけです。外国語学校の学生指導の考え方を秦野でうまく具現化してもらおうということをつくづく思ったのです。それは教育委員会も協賛して、こども育成課が中心になってやっているのですが、秦野の小学校の子どもは幸せだなと、去年参加して改めて思ったのです。今年10人のALTが来るので、英語や歌やゲームを通して、子供たちは楽しい時間を過ごせるのではないかと思いますね。

ほかにどうでしょうか。

それでは、ないようですので、秘密会に入る前に、11月1日に神奈川県市町村教育委員会連合会の研修会が横須賀市で開催されました。高橋委員と飯田委員に参加していただいたので、その報告を簡単をお願いします。

高橋委員

横須賀市役所で連合会の研修会が11月1日に行われました。飯田委員と一緒に参加したのですが、研修会の講演が「食物アレルギーの基礎知識と緊急時の対応」という演題で、アレルギー性疾患研究部長の海老澤先生が講師でお話をされました。

この前、調布市で給食を食べ、食物アレルギーによって児童が亡くなる大変悲しい事件がありましたが、そのような事故が絶対に起こらないようにというお話で、大変タイムリーな内容であり、大変ためになりました。

講演の内容で、私が一番印象に残った内容は、児童期になっても食物アレルギーが残っている場合は、その子どもが重篤な食物アレルギーを持っているとのことでした。子どもの8割方は就学前に食物アレルギーは治ってしまうらしいのです。しかし、残りの2割の重篤な子どもが食物アレルギーを持ったままになってしまうという話でした。もともと症状が重い人のアレルギーが残ってしまっているのです、その対応は本当に慎重にしていかなければいけないのです。こういう問題は校長先生にまず音頭を取っていただいて、全市が一致協力して取り扱う問題だとおっしゃっています。先生方が異動してしまい、今までの学校と方針が違う、給食の栄養教諭だけが知っている、そういう問題ではありません。担任の先生とご家庭と生徒、それぞれの情報交換、緊密な連絡が大変重要というお話を伺いました。詳しいことは、事務局の職員も一緒に出席していましたので、資料等をご覧いただければと思います。

飯田委員

私の印象に残った内容は、アレルギーと言うと私たちは花粉症ぐらいの程度のもと思っていたのですが、今回の講演を聞き、



アレルギーの怖さ、特にアレルギーの中でも重い症状にアナフィラキシーという症状があるらしいのですが、それは670人に1人の割合にいるらしいのです。それを考えると、秦野市の1校に1人はそういう児童がいるかもしれないのです。今まで食べ物に対して何もアレルギー反応がなく、給食でたまたま出てきたものの中にそういったアレルギー物質が入っていて、その子に合わなかった場合は、本当に重い症状になり得る場合もあるということでした。そういったときの緊急処置として、エピペンの使い方を各学校の先生たちにも研修会を開くなど、それだけでも違う結果になってくるのではないかということをおっしゃっていました。本当に、たかがアレルギーと思ったのですが、非常に勉強になりました。

望月委員長

それでは、秘密会といたしますので、関係者以外の退席を求めます。

—関係者以外退席—

[削除]

望月委員長

それでは、以上を持ちまして、定例教育委員会を終わります。